

舞台音響設備概要(アールスペース)

■特徴

市民の様々な使用目的に最適な音場を提供します。
講演会での明瞭な拡声を基本とし、演劇での臨場感ある効果音再生から展示会での控えめで繊細なBGMの再生までリアリティーでクリアな演出が可能。

■基本構成

主スピーカはプロセニウムスピーカ(センター)とサイドスピーカ(上手/下手)の3基によるトライアングル構成とする。
その各々が客席エリア大半をカバーすることにより、基本的な拡声音場を確保します。
さらに、効果用シーリングスピーカ、ウォールスピーカを設備することで多様な舞台形態に応じたステレオ感拡がり感、定位感、音像移動などにより高度な音響演出を可能とします。
主スピーカに加え移動型スピーカを装備することで平土間、3間舞台、4間舞台形状に対応します。

■ミキシングシステム

主ホールと操作性が類似する姉妹機種を選定しオペレータの習熟負担を軽減。
・32マイク入力+4ステレオ入力(計40ch入力)
・16ミックスバス+8マトリックスアウト
・シーンメモリー数 300

■録音再生機器等

システムを構成する機器
・MD/CDプレーヤー、カセットテープレコーダ
・ソリッドステートレコーダ
・ワイヤレスマイクシステム(同時使用4波)
各機器は収納ケースに収納し可搬性を高めている。
また、舞台形状に応じた操作ブースをホール内のどこにでも構築することが可能。

■舞台連絡装置

主音響システムとは独立し舞台スタッフが自由使用可能
・舞台進行に必要なポイントに有線インターカムを設備。
・搬入口からホワイエまで劇場運営に必要なポイントを見られるITVシステムを装備。
・舞台袖より楽屋呼出が可能。

■各種催物の対応

各種催物の設定パターンをデジタルマルチプロセッサに記憶させることで最適な音場を簡単なスイッチ操作により瞬時に呼出が可能。

4間舞台形状

・固定主スピーカにて最適音場を実現可能。

3間舞台形状

・固定主スピーカ+移動型スピーカにて最適音場実現可能。

平土間形状

・効果用シーリングスピーカ、効果用ウォールスピーカを使用し展示会のBGM再生が可能。
・効果用シーリングスピーカ、効果用ウォールスピーカ及び移動型スピーカを客席形状にあわせ配置することで多様な催しに対応が可能。

講演会

・出力制御部のディレイマトリックス機能により舞台の生の声を活かした自然な定位感のある拡声。
・ソリッドステートレコーダより、メモ리카ードを使用しての長時間で高音質なデジタル録音が可能。
・高輝度、高解像度(フルHD)のプロジェクターを使用するのプレゼンテーションが可能。

演劇

・効果用シーリングスピーカ、効果用ウォールスピーカとディレイマトリックス機能により自然な定位感のある効果音の再生が可能。
・MD/CDプレーヤー、カセットテープレコーダ、ソリッドステートレコーダを揃えており持ち込まれた各種メディアに対して対応可能。

軽音楽コンサート

・大型移動スピーカ装備し、主スピーカに加えて使用することで迫力ある音楽の再生が可能

映写会

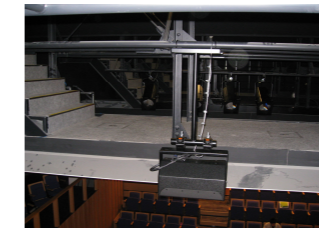
・高輝度、高解像度(フルHD)のプロジェクターにより市場に普及している映像ソースの上映が可能。
・主スピーカに加え、移動型スピーカ、効果用ウォールスピーカを使用するのサラウンド再生が可能



音響調整卓(調整ブース)



パワーアンプ架(サブ変電室前)



効果用シーリングスピーカ



メインスピーカ(第4ブリッジ)

